

# 道 標 (みちしるべ) 第154号

平成23年1月7日  
校長 稲垣 達也

## 「履修原理」から「習得原理」への転換

新学習指導要領完全実施の年です。今回の改訂は、教育基本法などの法改正を根拠としており、「法令等に掲げる目標を達成するよう教育を行う必要がある」という視点がいつそう明確になりました。これは「履修原理」から「習得原理」への転換とも言え、教育の保障、結果の責任として、何を学ばせたか（教えたか）ではなく、“どんな力を付けさせたか”が、いつそう問われています。また、内容・水準ともに高度になっており、教育計画や教材研究など十分な準備が必要です。

### 教育の「結果」に着目し、日常の取組みを改善！

その意味でも、ホップ・ステップ・ジャンプのジャンプに当たる3学期は、1年間の教育の成果を出すとともに、その結果の客観的な評価に基づいて、次へ改善していく作業が重要です。

例えば、

- 1 確かな学力が向上したか
- 2 心と体が健やかに成長したか
- 3 保護者や地域と連携した教育活動を行ったか
- 4 校内がきれいに整美され、施設が安全に管理されているか

などなど

### 3学期のチェックポイント（思いつくまま）覚書

- 学校の動き： 学校関係者評価、授業評価、生活アンケート（次年度に生かす）  
 学校図書館活用調査研究の事前調査（国語力、読書調査など）  
 蔵書管理システムによる貸し出し開始（いつから？）  
 実物投影機全教室に配置（1～3年、すずかけ、音楽室、図書館）  
 児童と保護者ボランティアによるトイレ掃除試行（1月14日から9回）  
 教育課程・教育計画の見直し、作成（いつまで、どのように）

- 教員の目標： 実物投影機の活用（毎時間）  
 学校図書館機能の活用（全教科等で1回以上）  
 商用データベースの活用・授業記録（可能な限り）  
 授業改善プランの目標達成（これは公約です）

- 校長の目標： 2月までに授業観察1回以上（年間4回以上）  
 毎日、全教室に顔を出す（可能な限り）

### 年頭所感（私が大切にしたいこと）

- ◆三小はどこに向かっているのか by. 教育長

新しいことをする必要はない 必要なことをしているだけ

最も必要なことは「学力保障」 ← 一つだけ選ぶとしたら **『授業で勝負』**

- ◆トイレボランティアに78人

一人の声を生かすことの大切さ 例：夏の水筒・散水・扇風機、予防接種、卒業式

新しいことのリスクと産みの苦しみを乗り越える **『組織力』**

- ◆判断基準は教育ニーズ

教育ニーズとは、要望・要求ではなく **『必要性』**

〔現状〕－〔到達目標〕＝〔教育ニーズ〕

教育ニーズを埋める方策・取組みが必要 → 私たちの仕事はすべてここにある

- ◆正しい判断のためには多面的な情報が必要

個人の嗜好（好き嫌い）で判断しない ×やりたいからやる ×やりたくないからやらない

いくつかの判断ミス 原因は情報不足 責任はどこに？ お願い！ **『情報力』**